

地域づくり提案事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 22 年度

市町村名	川口市			
提案事業名	地域活性化のための誘客事業（ようこそ川口キャンペーン）			
事業期間	22 年度	～	22 年度	
事業の必要性、目的	<p>少子高齢化、経済の低成長に特徴づけられる成熟社会が到来する中、都市の知名度・認知度の向上、市内経済の活性化、人と人との交流の促進、市内団体・機関の連携の強化及び都市への愛着の醸成が、自立した地域経営に不可欠となっている。そのためには、多様な文化や感性を持つ多くの人的資本が積極的に交流し絆を深め広げる好機を提供するとともに、こうした交流を育む地縁団体、商店会、業種団体、市民団体等の連携を行政がしっかりと下支え・コーディネートし社会関係資本機能を発揮するよう政策的に誘導することが不可欠となっている。そこで、誘客による地域活性化を視座とした事業を展開するものである。</p>			
成果指標	<p>（成果を検証する指標）</p> <p>本事業により設置する、川口市の魅力を発信するとともに来訪者の反応を収集するための仮想領域での双方向コミュニケーション基盤への、情報提供件数及びアクセス数</p>			
	<p>（成果検証の具体的な方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> 掲載情報数を四半期ごとに集計し、その伸び率を検証する アクセスカウンターを設置し来訪者数を毎月集計し、その伸び率を検証する 			
	<p>（上記の指標を設定した理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の更新頻度すなわち情報の鮮度が誘客に不可欠である。（量的妥当性の検証） 情報の質を顧客ニーズにフィットさせることがリピーター獲得に不可欠である（質的妥当性の検証） 			
	<p>（成果の目標値）</p>			
	現状値 （22年5月現在）	—	目標値 （23年3月時点）	<ul style="list-style-type: none"> 掲載モデルコース10コースの掲載（掲載コース10） アクセスカウンター各月700件
	<p>（施設建設等の場合）</p>			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
<p>住民への公表方法及び特記事項</p>				

【成果指標と構成事業の関連性】

平成22年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 誘客情報基盤設置事業	ソフト 自治体がシンボルキャラクターを伴った仮想領域の基盤を整備・運用し、市民及び本市公共領域活動諸団体がこれを活用することにより、都市への愛着の醸成と誘客マインドの浸透が進展し、良質で新鮮な情報が市外に発信されるとともに、アクセス状況に応じた提供情報の有用性が精査され、誘客効果に係る学習プロセスが確立される。	4,200
② 誘客宣伝キャラクター制作等事業	ソフト 仮想領域の基盤内におけるシンボルキャラクターを制作し、キャンペーン活動に参加させることにより、キャラクターへの関心から、仮想領域基盤への興味を喚起する。	601
③	ハード ソフト 実行委 間接補	
④	ハード ソフト 実行委 間接補	
⑤	ハード ソフト 実行委 間接補	
⑥	ハード ソフト 実行委 間接補	
合計		4,801

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	<p>市内にプロジェクトチームを設置し仮想基盤への提供情報フレームのブラッシュ・アップを行うとともに、情報政策担当と現在使用可能な地理情報システム等とのリンケージの協議が具体化していることから、仮想基盤の構造、利便性及び提供情報は、もれなくダブリなく、かつ顧客ニーズに応えうるものとなると判断している。</p>
成果指標の達成見込み	<p>市既刊「我がまち川口 再発見」に掲載した、市内散策10コースを基礎に、経済部商工課が現在の状況を実地点検し情報を更新する事業を実施していることから、掲載時期は未定ながら、10コースの掲載は確実にできる。</p> <p>また、アクセスカウンター件数については、市ホームページに特定事項の検索でアクセスする利用者及び一般的な市政情報を入手するためにアクセスする利用者のうち、毎月更新している市長メッセージ「市長通信 市民のみなさんへ」にアクセスする利用者を指標とし、当該アクセス平均数の700件を見込みとしたことから、市ホームページでの専用バナー設置及び新着情報でのメッセージ掲示の強化、並びに関係機関諸団体ホームページへのリンクバナー設置など、本サイトへのリンクを強化することにより誘引可能なことも含め、認知度が低い期間ながらも達成は可能と思料する。</p> <p>なお、本件「ようこそ川口キャンペーン」は、「市長通信 市民のみなさんへ」を通じ市民にアナウンスしており、また観光事業でもないことから、市ホームページ「イベント・観光」をアクセスカウンター件数指標のベンチマークとしなかったものである。</p>